

寺

一、真言宗石沢山宝藏院。

原

一、関下河原 村の東北三町十九間に有、南北四十間、東西五間、草を刈に使よし。

一、やくぶん河原 村の北四町十八間に有、東西六十間、南北二十五間、草を刈に使よし。

一、塚の腰河原 村の北五町六十一間にあり、南北二十五間、東西八間、草を刈に使よし。

一、ごんげん河原 村の西南一町三十三間に有、南北十間、東西五間、ごんげん河原と云謂を不知。

一、だい河原 村の東に有、南北六十間、東西二十間。

右原に藁草有、兔絲子、茜根、車前草、香薷、活萐、天門冬、忍冬。

一、村の西南一町十七間畠の中に狐穴あり、年により子を産。

一、代二百四十文を出し、沼山村、大野村山に入て薪を伐る。

貞享二年書上げ

会津郡石原村

一、若松より田舎道九里。

一、鎮守 大神宮田村山へ引宮に被仰付候、祭礼九月九日、宮下より社家来祭、当所の者社参而遊ぶ。

一、薬師堂 横三間行四間、四月八日当日参詣而遊ぶ、少々他郷より参詣す。社堂之間敷に屋作不仕由申伝、别当同村宝藏院。

一、菩提所 真言宗石沢山宝藏院、高二石四斗九升五合、御年貢寄進。

一、漆役 木数六十五本分有、蠟漆上納而不足之年貢代金上納。

一、村の東に葭野二ヶ所有、此御役銀老奴二粉宛年々上納す。

一、大野村へ代四百文宛年々出、葉柴、かくまを取。